

危険物施設火災を想定した合同消防訓練を実施

坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部

平成30年6月8日（金）当消防本部及び坂戸・鶴ヶ島防火安全協会では、「危険物安全週間」に危険物施設からの火災を想定し、イーグル工業株式会社埼玉事業場自衛消防隊と合同消防訓練を実施しました。

同事業所から訓練を終えて、日頃からの保安教育、防火管理及び訓練が大切との感想があり、大変有意義な訓練となりました。



救急車適正利用啓発横断幕の設置

松戸市消防局 小金消防署

松戸市小金消防署は、平成30年6月25日に松戸市防火協会小金支部の協力のもと、年々増加傾向にある救急出場の減少を目的に、救急車適正利用の横断幕を車庫脇に設置しました。

松戸市小金消防署は松戸市の北部に位置し、消防署前の道路は埼玉県三郷市から市の南北を通るため、交通量が多くPR効果が期待できます。

設置した横断幕は、大きく『早く助きたい命がある！救急車の適正利用にご協力をお願いします』の文字が入り、近年救急出場件数の増加と軽症者は自ら病院へ行き救急車の適正利用をするよう広くアピールしています。



消防通信 望楼 ぼうろう

「平成30年度自主防災訓練指導員養成講習会」を開催

柏原羽曳野藤井寺消防組合

柏羽藤組合消防団協議会主催で地域住民自主防災訓練の指導員養成として「平成30年度自主防災訓練指導員養成講習」を5月20日（日）柏原羽曳野藤井寺消防組合消防本部で開催しました。

講習内容は、煙霧体験、初期消火、AED取扱い、応急手当、応急担架作成及び負傷者搬送訓練を実施し、柏原市消防団、羽曳野市消防団及び藤井寺市消防団の団員合計111名が受講し、自主防災訓練の指導員となるため熱心に取り組み、講習終了後受講された団員には修了証



が配布されました。

災害情報収集用無人航空機（ドローン）の導入について

吹田市消防本部

本市消防本部では、平成30年7月に無人航空機（ドローン）を導入し、災害状況の把握や捜索等の救助支援など、災害現場におけるより効果的な運用に向け、日々訓練を重ねています。

機種はDJI社製MATRICE200で、最大風速10m/sに耐え、IP34の防水機能を備えており、あらゆる環境下で飛行可能な機体を選定しました。ドローンで撮影された映像は、現場及び高機能消防指令センターはもちろんのこと、市役所に設置される災害対策本部にもリアルタイムで伝送が可能です。



消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。
ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】